



「実利・実益の確保を実現する『民商を創る』総会にしよう」と呼び掛ける太田会長

余曲折を乗り越え、立憲主義の回復を求める「市民と野党の共闘」へと前進した2年間でした。國の在り方を問い合わせ、持続可能な社会をめざす「共同の時代」へ、世論と自覺的な行動が階層や年代を超えて大きく広がっています。

国民・中小業者は深刻な苦難に直面しています。2012年12月に発足した第2次安倍政権の5年間で、非正規雇用が207万人増加し、労働者の実質賃金は年収で15万円低下しました。金融資産を持たない世

## 、情勢の激動と 共同の時代への展望

日本を再び、戦争国家にするのか、それとも平和憲法を生かす社会にするのかをめぐり、歴史的転換期のせめぎ合いが強まっています

治体への要請や政策提案を重ね、経営と暮らしの向上に役立つ多彩な施策を実現してきました。徴税権力の横暴や不公正な取引を一つひとつ是正してきました。個人の尊厳を守る助け合い相談を開設し、「仲間を増やして悪政に反撃」のたた

かいを推進してきました。憲法の完全実施を通じて、主権者である国民の「平和的生存権」を拡充し、平和産業の担い手である中小業者の役割を正当に評価する社会の実現が強く求められています。

れ、確かめられてきた「民商・全商連運動の基本方向を生かして、市民と野党の共闘に貢献し、民商・全商連の理念を大きく知らせます。政策提案活動を抜本的に強め、中小業者の生きる道をひらくために力を尽します。

## 2、憲法理念を実現する社会をめざして

る異常な政治姿勢に対する国民の怒りが安倍政権を追い詰めています。自衛隊の海外派兵の道を開き、9条改憲へと暴走するなど、日本を「殺し殺される国」へとおどしめる政治は、保守層の離反を招き、危機意識を募らせる国民との利害対

さあがまな共闘は地域中小業者の振興に関わるたかいにつながっていきます。オール沖縄のたかにいは、日米両政府が権力を掌握して襲いかかってきてきている中でも「命どう主」「基地に依存しない経済発展」を合言葉に決して屈していません。

め、平和行進に汗を流し、被爆者とともに粘り強く、「核のない世界」を求めてきた世論と運動が切り開いた成果です。

一、地域を舞台に、危機切実な要求実現を

**2、憲法理念を実現する社会をめざして**

前総会以降、市民と野党が力を貸すことで、裁判が相次いでいます。たとえば、賠償制限を譲りどす民による原発ゼロ・自然エネルギー推進の運動が広がっています。

る異常な政治姿勢に対する  
国民の怒りが安倍政権を追  
い詰めています。自衛隊の  
海外派兵の道を開き、9条  
改憲へと暴走するなど、日  
本を「殺し殺される国」へ  
とおどしめる政治は、保守  
層の離反を招き、危機意識  
を募らせる国民との利害対  
立に中小業者の振興に関わるた  
ちにたいへん心配です。オール沖  
縄のたたかいで、たかいにつなが  
っていきます。オール沖縄のたたか  
いは、日米両政府が権力を握  
る動員して襲いかかってきてき  
る中でも「命どう主」「其  
地に依存しない経済発展  
を合言葉に決して屈しては  
さまざまな井戸闘は地域

め、平和行進に汗を流し、被爆者とともに粘り強く、「核のない世界」を求めてきた世論と運動が切り開いた成果です。

2018年5月27日 全国商工団体連合会

# 全商連第53回 定期総会方針

全商連第53回定期総会方針	1
私たちの要求	6
全商連共済会第25回定期総会方針	11

した経営環境の改善を提案してたたかいます。

1、力を合わせ、  
経営力強化、仕  
事と資金の獲得  
を

「商元会を経て、いよいよ  
合ってきました。経営交流  
や事業計画作りを日常的に  
行い、中小業者ならではの  
工夫と知恵を身につける場  
を班や支部の集まりを含め  
多様につくります。民商ま  
つりや商工フェア、料飲才  
リエンテーリングなどを積  
極的に開催します。仕事お  
こし、顧客拡大に組織の力  
を生かします。自治体・国  
の中小業者施策や支援制度  
の活用に取り組みます。公  
契約条例の制定を求め、經  
營を維持できる単価獲得に  
力を合わせます。商工交流  
会運動は、実践と研究の統  
一を通じて、経営意欲に応  
える取り組みです。地域で  
の交流と全国での交流を双  
方向型へと発展させ、産学  
連携や経営力強化の知恵と  
工夫を学び合います。

信用保証の部分保証化で  
貸し渋りが懸念されます。  
地域金融機関との懇談を強  
め、資金繰りへの支援と稅  
務署の反面調査への対応改  
善、地域経済振興への役割  
発揮を促します。自治体の  
制度融資を中小業者の資金  
繰りへの抜本的支援策とし  
て改善させ、「融資は権利」  
の立場で運動を前進させま  
す。

ものづくりの危機打開や  
小企業の事業継続へ、さま

さまざまな補助金がつくられていくことも見逃せません。補助金獲得で商売の信用を高め、経営発展の中で納税資金を生み出すこともできます。学習・相談の場を積極的に設け、補助金の獲得と制度拡充への提案を強めます。

磨いてきた技術やサービス、まねのできない味、積み上げてきた信用と取引先を次代に引き継ぐことが地域経済に活力を与えます。民商・県連で事業承継の経験交流や次世代対策を重視し小企業・家族経営を支援します。

## 2、自治体要請 を強め循環型経 済の実現を

組織的な援助と学習を通じて中小業者の実態と要求を自治体施策の拡充に反映させます。

小規模企業振興基本法の積極面を生かし、「売り手よし、買い手よし、世間よし」の施策拡充を働きかけます。まちづくり、ものづくり、商店街振興、再生可能な自然エネルギーの普及、農林水産業との連携、食糧自給率の向上などを通じて、循環型地域の実現をめざします。

刑法が禁じる賭博を合法化し、地域経済の疲弊を招き、ギャンブル依存症など不幸をまぎ散らすカジノ誘致に反対します。宿泊者の安全・安心に努める旅館・ホテルの経営を脅かし、住民の生活環境に悪影響を与える「民泊」の規制強化を自治体に働き掛けます。

多国籍大企業の利益拡大を狙う経済連携協定は、農産物、工業製品、サービス、政府調達、著作権、投資や金融、食の安全、労働などあらゆる分野を対象としています。安心安全の地域づくりへ、小企業・家族経営を中心の内需振興策を提案し、大企業優遇を許さない共同を強めます。

### 3、業種別・問題別対策の強化と震災復興を

つた加入強要を是正してきました。建設業許可の要件に社会保険加入を加える建設業法「改正」が狙われています。「行政の許認可」を中小業者つぶしの「官僚的な規制」としないよう政策転換を迫ります。労働保険事務組合の活動を強め、一人親方や個人事業主の労災加入の要求に応えます。料飲業者への警察の過度な取り締まりをやめさせ「夜のまちのオアシス」として役割を発揮するスナックを守り、経営を支援する取り組みを前進させます。

損保代理店の「手数料ボイント制度」や「乗り合い拒否」「事故あり等級」など、契約者の利益逆行し代理店の選別・淘汰を進め



歓迎行事の唄や舞いに大きな拍手を送る総会参加者

## 4、大企業の横暴は正と公正な取引ルールを

小規模企業振興基本法  
照らせば、中小業者に公正な取引ルールが保障  
されるべきです。しかし、銀  
の貸し済り、際限のない  
価値たき、突然の取引停止  
原価を下回る「安売り」  
無法なFC契約、納入業  
への負担強要、技術のか

公正な取引の促進、適正単価の保障が中小業者の利益確保と賃金引上げに欠かせません。中小業者を市場取引から排除するあらゆる動きを許さず、違法行為の取り締まり強化を要求します。

## 四、大増税阻止、民主的な税制を確立を

年16年ぶりに  
利宣言」（第  
表しました。  
から「国民運  
関係にある弁  
言「広く納  
1、消費税増税  
を許さず、マイ  
トの上に  
の根幹をなす「税の在り方  
と使い道」をたどる世論と  
運動を巻き起こします。

1、消費税増税  
を許さず、マイナンバー中止の  
共同を

年16年ぶりに利宣言」（第  
表しました。関係にある弁  
から「国民運  
言」「広く納  
中へ」と期待  
います。また、  
・意見交換を  
税の欠陥を浮  
改憲・大増税  
い賛同を広げ  
を力に、憲法  
る税制・税務  
めざし、国家  
の根幹をなす「税の在り方  
と使い道」をただす世論と  
運動を巻き起こします。

1、消費税増税  
を許さず、マイ  
ナンバー中止の  
共同を

消費税10%への増税を2  
度に渡つて延期させてきました。消費税の大増税は、  
すべての中小業者の死活に  
関わる重大問題です。景気  
困難をもたらしてきた消費  
を低迷させ、雇用を破壊し、  
国民と中小業者に未曾有の

強め、公正取引委員会が本来の役割を果たすよう働きかけます。



'総会方針の実践を」とガンバロー三唱する参加者

免税業者が取引排除を受け入れるか、課税業者を選択し重い税負担を覚悟するか迫られます。税理士会やインボイス制度には反対」を表明しています。「税制で商売をつぶすな」の怒りを結集し、署名運動と野党念させます。最悪の大衆課税である消費税の減税・廃止に向けた不斷の税制改革を要求してたたかいます。

政府はマイナンバーを利用して国民の資産や納税額、公的給付などの情報を把握し、課税と徴収を強めようとしています。中小業者は、運用・管理を無償で押し付けられ、費用や実務負担が増大します。官庁交渉で「記載がなくても不利益はない」と回答させ、住民税特別徴収での勝手な記載をやめさせてきました。

このことは国民管理の狙いを暴露し、権利主張の道理によって、能力に応じた公平な税制が壊されてしまう。憲法をないがしろにする政治によると、税制をやめ、税能負担の原則を確立を

合意なものとなっていました。大企業は、法人税減税や研究開発減税などの租税特別措置、連結納税や受取配当益金不算入の制度によって優遇され、極端に低い税負担となっています。

資本金100億円以上の大企業の方が、資本金1億円未満の中企業よりも実質税負担率が低いという事がわかった。仕組みを国民に知らせ、「不公平税制を正せ」という怒りを呼び起こします。

生活保護基準さえ下回る所得税および住民税の課税最低限を大幅に引き上げるよう要求します。所得税法第56条を廃止し、働き分を経費として認める自家労賃を累進課税とし、特權的な減免税制度を是正するよう迫ります。タックス・ヘイブン（租税回避地）を利用した大企業・大資産家の犯罪的な税逃れを許さず、その防止を国際協調によって推進するよう働きかけます。

「払いきれない」国保料（税）や、「赤字でも納付が迫られる」社会保険料などが国民の生存権を侵害し、個人の尊厳を脅かしてしまいます。

自民党などは今年中に改憲を発議し、2020年に施行しようとしています。「戦後70年・恒久平和を求める見解」を深く学び、たたかいの力にします。「戦争の惨禍」を絶対に繰り返してはなりません。憲法の平和的・民主的条項を個人の尊厳を守るたたかいに生かすとともに、安保条約を平和友好条約に切り替える「平和繁盛」を信条とする民

や薬代を支払うことが困難な場合、「減額・免除・徵収を猶予」するとした国保法44条（一部負担金免除）を活用し、命と健康を守ります。税制・税務行政の民主化も、憲法を生かす取り組みが大切です。平和的、民主的条項を権利主張の根拠として身につけ、改憲阻止と結んでたたかいます。

2019年の統一地方選挙、参議院選挙をはじめ、あらゆる選挙戦を要求実現の機会としてたたかいます。

協や「国保をよくする会」とともに自治体交渉を繰り広げてきました。住民負担の現金まで差し押さえる強権的な徴収を許さず、納税緩和制度の活用を優先するよう迫ります。

滞納者を悪と決めつけ、生活必需品や売掛金、財布の現金まで差し押さえる強権的な徴収を許さず、納税緩和制度の活用を優先するよう迫ります。

滞納者を悪と決めつけ、生活必需品や売掛け金、財布の現金まで差し押さえる強権的な徴収を許さず、納税緩和制度の活用を優先するよう迫ります。

協や「国保をよくする会」とともに自治体交渉を繰り広げてきました。住民負担の現金まで差し押さえる強権的な徴収を許さず、納税緩和制度の活用を優先するよう迫ります。

協や「国保をよくする会」とともに自治体交渉を繰り広げてきました。住民負担の現金まで差し押さえる強権的な



全業者と対話し要求に応えた運動を呼び掛ける太田会長

新たな共同の時代を迎える中、市民と立憲野党の共闘に貢献して会内外の信頼を培うとともに、仲間を増やす取り組みを第一義的課題として中小業者の生きる

この2年間、転換期に打つて出る強大な民間・全商連の建設に力を合わせてきました。中小業者との出会いを広げ、要求実現に真剣に向き合う相談活動を軸に「紹介したくなる民間」づくりを進め、毎月の持続拡大を推進してきました。全国会長会議や地方別活動交流会を節目として、運動と組織の前進的な変化に確信を深めてきました。

民間・全商連は、徴税権力はもとより国・自治体のあらゆる機関にも大企業にも、道理に基づき正々堂々と意見述べる団体です。

署名と商工新聞で情勢の焦点と時々の運動の重点を伝えます。「運動しつつ学び、学びつつ運動する」取り組みを強め、「目に見え音に聞こえ、口コミで話題

高めることができます。運動に磨きをかけ、運動の継承・発展を

助け合いの相談活動が、民商・全商連の要であり、生命線です。さまざまなお問い合わせ、共通する要

求を運動へ発展させてこそ、問題解決や制度・ルールの創設・改善を実現できます。

### 3、商工新聞の積極的な活用と学習・教育活動の充実を

「国家権力への迎合か、独立か」でメディアの在り方が問われる時代に、商工新聞は「アベ政治を許さない」共同を励まし、中小業者の存在と民間運動の「打ち」を押し出します。補助金獲得の事業計画づくりなどに、若い世代の関心が広がっています。事業承継の機会に、親子や世代間の相互

理解を促進し、新たな工夫による「大量宣伝」によって、民間の「打ち」を知らせや革新性をアドバイスするなら、信頼を高めることができます。情報技術の進展を背景に、就労の在り方が変化していることも踏まえ、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を積極的に活用します。

「仲間増やしは会員本来の願い」であることに確信を持ち、自ら掲げた拡大目標を断固やり遂げる構えと手立てを確立します。商工新聞の魅力に確信を深め、読者前面の拡大と「読者が大きくなっているのか」、「政治的な力関係を変えるために、どう真価を發揮するのか」を深め合い、会勢の前進に挑戦します。

### 1、要求を掘り起こし「減らさず増やす」毎月の持続拡大を

新たに「法人成り」を志向する傾向が強まっています。法人申告の会員にも助け合い相談や商工新聞中心の活動で力を発揮してもらうことが求められています。記帳を要求運動として発展させ、法人申告の会員からも行動参加を増やします。

一人ひとりの会員に、豊かな学習機会を提供できるのも民商・全商連の特質です。運動と組織の拠り所として生命力を発揮する「基本方向」をはじめ、新会員の目標で編さんされた「よこそ民商へ」、班・部役員の役割を示す「班・支部活動の手引き」、機関役員や事務局員が身に付けるべき「財政活動の一層の前進のために」などを繰り返し学び、活動に生かします。

「制度学習大綱」での学習・教育を推進し、丁寧な呼び掛けや講義の充実、参加者の発意を引き出します。事務局員対象の「学校」や「交流会」への参加を促進し、民間・県連・全商連が連携して、事務局活動の

会員を歓迎する機会を増やし、商売での工夫や苦労にも学び合るようにします。と毎月の会員拡大に取り組みます。すでに、対象業者数で10%以上の仲間を組織している民間・県連は多数派結集の大志を培い、いつどこに住み、どんな商売をしているかを「地図落とし」などで明らかにし、班・支部に所属できない会員への声かけを計画的に進めます。

会員の精神とする規約に基づき、会員の総意を結集し、会員を増やし、会員の結

團結を強める機関運営が不

可欠です。

機関会議を中心に、月サイクルの活動を確立します。節々に大局的かつ変革の立場から情勢討議を深め、会員の実態と要求に基づいて方針実践に足を踏み出します。商工新聞や月刊民商、「全商連会報」から全国の仲間の教訓的な取り組みを学び合います。運動

体にふさわしい財政活動を推進します。

会員相互の信頼関係を深め、政治戦に際しては、要求と結ぶ対話運動を推進します。

会員の存在と民間運動の「打ち」を押し出します。補助金獲得の事業計画づくりなどに、若い世代の関心が広がっています。事業承継の機会に、親子や世代間の相互

理解を促進し、新たな工夫

による「大量宣伝」によ

って、口座開設の拡大

を確立し、読者前面の拡大

と毎月の会員拡大に取り組

みます。すでに、対象業者

数で10%以上の仲間を組織

している民間・県連は多数

派結集の大志を培い、いつ

どこに住み、どんな商売を

しているかを「地図落とし」

などで明らかにし、班・支

部に所属できない会員への声かけを計画的に進めます。

会員の総意を結集し、会員を増やし、会員の結

團結を強める機関運営が不

可欠です。

機関会議を中心に、月サ

イクルの活動を確立しま

す。節々に大局的かつ変革

の立場から情勢討議を深

め、会員の実態と要求に基

づいて方針実践に足を踏み

出します。商工新聞や月刊

民商、「全商連会報」から

全国の仲間の教訓的な取

り組みを学び合います。運動

体にふさわしい財政活動を

推進します。

会員相互の信頼関係を深

め、政治戦に際しては、要

求と結ぶ対話運動を推進

します。

会員の存在と民間運動の「打ち」を押し出します。補助金獲得の事業計画づくりなどに、若い世代の関心が広がっています。事業承継の機会に、親子や世代間の相互

理解を促進し、新たな工夫

による「大量宣伝」によ

って、口座開設の拡大

を確立し、読者前面の拡大

と毎月の会員拡大に取り組

みます。すでに、対象業者

数で10%以上の仲間を組織

している民間・県連は多数

派結集の大志を培い、いつ

どこに住み、どんな商売を

しているかを「地図落とし」

などで明らかにし、班・支

部に所属できない会員への声かけを計画的に進めます。

会員の総意を結集し、会員を増やし、会員の結

團結を強める機関運営が不

可欠です。

機関会議を中心に、月サ

イクルの活動を確立しま

す。節々に大局的かつ変革

の立場から情勢討議を深

め、会員の実態と要求に基

づいて方針実践に足を踏み

出します。商工新聞や月刊

民商、「全商連会報」から

全国の仲間の教訓的な取

り組みを学び合います。運動

体にふさわしい財政活動を

推進します。

会員相互の信頼関係を深

め、政治戦に際しては、要

求と結ぶ対話運動を推進

します。

会員の存在と民間運動の「打ち」を押し出します。補助金獲得の事業計画づくりなどに、若い世代の関心が広がっています。事業承継の機会に、親子や世代間の相互

理解を促進し、新たな工夫

による「大量宣伝」によ

って、口座開設の拡大

を確立し、読者前面の拡大

と毎月の会員拡大に取り組

みます。すでに、対象業者

数で10%以上の仲間を組織

している民間・県連は多数

派結集の大志を培い、いつ

どこに住み、どんな商売を

しているかを「地図落とし」

などで明らかにし、班・支

部に所属できない会員への声かけを計画的に進めます。

会員の総意を結集し、会員を増やし、会員の結

團結を強める機関運営が不

可欠です。

機関会議を中心に、月サ

イクルの活動を確立しま

す。節々に大局的かつ変革

の立場から情勢討議を深

め、会員の実態と要求に基

づいて方針実践に足を踏み

出します。商工新聞や月刊

民商、「全商連会報」から

全国の仲間の教訓的な取

り組みを学び合います。運動

体にふさわしい財政活動を

推進します。

会員相互の信頼関係を深

め、政治戦に際しては、要

求と結ぶ対話運動を推進

します。

会員の存在と民間運動の「打ち」を押し出します。補助金獲得の事業計画づくりなどに、若い世代の関心が広がっています。事業承継の機会に、親子や世代間の相互

理解を促進し、新たな工夫

による「大量宣伝」によ

って、口座開設の拡大

を確立し、読者前面の拡大

と毎月の会員拡大に取り組

みます。すでに、対象業者

数で10%以上の仲間を組織

している民間・県連は多数

派結集の大志を培い、いつ

どこに住み、どんな商売を

しているかを「地図落とし」

などで明らかにし、班・支

部に所属できない会員への声かけを計画的に進めます。

会員の総意を結集し、会員を増やし、会員の結

團結を強める機関運営が不

可欠です。

機関会議を中心に、月サ

イクルの活動を確立しま

す。節々に大局的かつ変革

の立場から情勢討議を深

め、会員の実態と要求に基

づいて方針実践に足を踏み

出します。商工新聞や月刊



各地の多彩な活動と教訓を聞き共感の拍手を送る代議員

運動を大きく展開します。受診増に転じた集団健診活動をさらに促進し、医療機関や自治体との懇談を強めて未受診者ゼロを目指します。健診助成の増額措置も生かして、一点検診を推進するとともに、若い世代に増える糖尿病や女性の乳がん・子宮がんも視野に入れ、「早期発見・早期治療」をめざします。

班の共済係と支部の共済役員を大いに増やし、仲間の手から心を込めた慶弔見

め、共済会に寄せられるいふ情報を探り、プライバシーに配慮しつつ、大いに役立てていきます。医療・介護の不安や苦悩を軽減する施策を拡充させることができ、元気に

舞を届けます。「目くばり、

気くばり、心くばり」の気風を、民商の会員とその家族へと行き渡ります。早期に会員加入率80%を達成し、全会員加入と配偶者の加入促進を進めます。

健康実態を告発し、社会

保障の改善提案を強めるた

め、女性の活躍」や「多様な働き方」が言わせながら

女性の就労環境は悪化して

いきます。この中で、フリー

ランスの女性たちも「国保

に傷病手当・出産手当を」

「女性の活躍」や「多様な働き方」が言わせながら

女性の就労環境は悪化して

いきます。この中で、フリー

ランスの女性たちも「国保

に傷病手当・出産手当を」